

シクロケム

オメガ3の酸化を顕著に防止

γCD + 抗酸化成分

(株)シクロケム(神戸市中央区)は、n-3系脂肪酸を抗酸化成分と組み合わせることで、顕著な酸化防止効果が得られ、酸化に対する安定性が飛躍的に向上することを明らかにした。

上を図る目的から、抗酸化成分と組み合わせるγCDで包接する研究を行った。試験は、抗酸化成分としてR体αリポ酸、δ(デルタ)トコトリエノール、アスタキサンチンを使用。DHA含有

有オイルと抗酸化成分の組み合わせだけでは、酸化防止効果は低かったが、オイルのγCD包接体に抗酸化成分を添加することで、酸化防止効果が顕著に向上することを確認した。

また、オイルと抗酸化成分を組み合わせるからγCDで包接した結果、いずれの抗酸化成分でもさらに酸化防止効果が高まることを確認した。その抗酸化成分の中でも、同社の寺尾啓二社長が「ビタミンEの中で最も酸化作用が強く、真のスーパービタミンEといえる」と語る、メチル

ノールとの組み合わせが、最も酸化防止効果が高かったことを確認している。酸化防止効果が向上すると、臭いも無くなり「サプリメントや飲料への採用が拡がる」(寺尾社長)。

同社は昨年度、消費者庁が行った「食品の機能性評価モデル事業」で、DHAやEPAなどのn-3系脂肪酸が、科学的

根拠レベル総合評価において、唯一、心血管疾患リスク低減、血中中性脂肪低下作用、関節リウマチ症状緩和の項目で、機

能性について明確で十分な根拠があると評価されたことから、同成分に着目して研究を行った。

これまでの研究では、n-3系脂肪酸であるDHA、EPA含有オイルのγCDによる包接によって、酸化を防止することを確認することもに、オイルのDHA、EPA含量を増加してもγCDの配合量を増やすことで安定性が向上することを確認していた。

同社は、あらゆるn-3系脂肪酸の安定性向